

## 常総市に災害救援物資を届けました。

明和町では、常総市に何が必要かを確認し、災害救援物資を18日にワゴン車で届けました。アルファ米やトイレットペーパー等です。（アルファ米とはお米を美味しく炊き上げた後、乾燥させた米で、お湯か水を注ぐだけで、煮炊きせずに美味しいご飯ができる、不思議なご飯のことです）

そして、9月21日午前6時30分出発で、町長以下関係課長4名と安全安心係・総務係総勢8名で常総市へ向かいました。常総市は水海道市が石下町を10年前に編入合併した人口6万5千人程・明和町の6倍ほどの広さの市です。今回の降雨帯の雲が西へ100キロずれていれば私たちの町も相当な被害を被っていたことでしょう。決して他人事ではありません。鬼怒川の決壊現場から市内を視察したあと、私たちはボランティアセンターではなく直接市役所にボランティアにはいりました。水に浸かり機能不全に陥っていた常総市役所は、水没した庁舎一階を片付けて職員一同復旧に当たっている現場です。そこを手伝いながら自分の町がもしもの場合の勉強をさせて頂く目的です。常総市の関係職員が温かく迎えてくれました。市役所の敷地内で配布している石灰や消毒薬の配布、来庁者の交通整理、飲料水の配給、非難者の受け入れ態勢、罹災証明の発行状況、生活に困っている方々の相談状況、医療態勢、支援物資の配布、地元関係団体のボランティアの様子等いろいろな事が勉強になりました。私たちは主に石灰や消毒薬の配布を手伝いました。高杉常総市長とも会い、過日の支援物資やボランティアに対する感謝の気持ちを伝えられました。24日から明和町職員が4人ずつボランティアに向かいます。事故や怪我無くしっかりとお手伝いとお勉強ができるよう願うばかりです。

平成27年9月24日

# 富塚もとすけ



常総市で活動する明和町のスタッフ↑ 9/21